

やまぐち物流 2024 年問題の解決に向けた共同宣言（案）

物流産業を魅力ある職場とするため、2024 年 4 月からトラックドライバーの時間外労働の年 960 時間上限規制と改正改善基準告示が適用される一方、労働時間が短くなることや担い手不足により輸送能力が不足し、物流が停滞する可能性が懸念されています。国の「持続可能な物流の実現に向けた検討会」では、2024 年問題に対して何ら対策を行わなかった場合には、輸送能力が 2024 年度には 14.2%さらに 2030 年度には 34.1%不足する可能性がある試算しています。

このため、物流事業者はデジタル技術を活用した共同輸配送やパレット化による手荷役作業の削減等の物流業務の効率化・合理化を進め、労働時間の適正化など魅力ある職場づくりに取り組み、女性や若者等の多様な担い手の確保を行う必要があります。また、着荷主を含む荷主事業者は物流事業者と連携し荷待ち時間、待機時間の削減等を行うとともに、ドライバーの賃金向上につながる「標準的な運賃」の活用等の適正な価格転嫁への理解をすることが必要です。消費者も再配達を減らす配慮やまとめ買いによる運送回数の削減に向けた取組を行う等、物流に対するこれまでの意識を見直す必要があります。

物流は、県民生活や経済活動を支える不可欠な社会インフラであり、荷主企業や消費者も一緒になって、それぞれの立場で担うべき役割を再考し、物流が直面している諸課題の解決に向けた取組を進め、持続可能な物流の実現につなげる必要があります。

私たちは、このような共通認識の下、「物流 2024 年問題」を自らの問題と捉え、山口県におけるサプライチェーン全体の共存共栄と、消費者の利便性確保を図り、もって地域経済の発展と県民生活の向上を推進することを目的として、関係者が連携して所要の取組の実施に努めることを宣言します。

令和 6 年 3 月 26 日

山口県経営者協会

山口県中小企業団体中央会

山口県商工会議所連合会

山口県商工会連合会

山口経済同友会

日本労働組合総連合会山口県連合会

山口県トラック協会

山口県地域消費者団体連絡協議会

J A 山口県グループ

山口県市長会

山口県町村会

山口県

中国経済産業局

中国運輸局山口運輸支局

山口労働局